Himeji Dokkyo University Alumni Association 獨楽会

Vol.41
2024.5.1.

Himeji Dokkyo University Alumni Association

姫路獨協大学 同窓会報

第28回 2024年度
獨楽会総会・交流会

日　時

2024年6月8日(土)
11：30～ 受付
12：00～ 総会
13：00～ 交流会

会　場

姫路キャッスルグランヴィリオホテル

姫路獨協大学同窓会　獨楽会

〒670-8524　姫路市上大野7-2-1
TEL＆FAX：079-223-9263
E-mail：honbu@hdud.gr.jp
URL：https://www.hdud.gr.jp

獨楽会Facebook

能登半島地震で被災なさった皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

獨楽会の皆様へ

獨協学園理事長　猪口雄二（いのくち ゆうじ）先生

姫路獨協大学の皆様、御卒業・御修了おめでとうございます。新たな門出に際し、心よりお祝い申し上げます。また、同窓生の皆様、この度、姫路獨協大学同窓会「獨楽会」の会報で御挨拶させて頂き、大変光栄です。

獨協学園は1881年に創立された獨逸学協会を母体として、1883年に獨逸学協会学校（旧制獨協中学校）が開校されました。昨年で140周年を迎えた歴史ある学園です。そして1987年、姫路獨協大学は、雄大な白鷺城で知られる緑豊かな城下町兵庫県姫路市に開学しました。その背景には、姫路市民を中心とした「姫路に総合大学を」という熱い思いがあり、姫路市と獨協学園が協力し全国初の「公私協力方式」により開学が実現しました。今年で開学37周年を迎えた姫路獨協大学は地域に密着した大学として、約二万人の卒業生を社会に送り出しました。全国で活躍される同窓生の皆様のお話を聞くにつれ、学園の理事長として非常に嬉しく誇らしく思っております。

しかし、皆様も御存知の通り、大学も昨今の非常事態とも思われる極端な少子化により、残念ながら入学者数の確保に苦戦する状況が続いています。学園としても理事長としても、その事に心を砕き、全力で解決すべく日々努力をしているところです。新卒業生・修了生並びに同窓生、また井上学長を始めとする大学職員の皆様のお力もお借りしながら、前向きな解決に向けて一歩ずつ進んでまいります。

私達の学園は、獨協大学の初代校長であった天野貞祐先生の「大学は学問を通じての人間形成の場である。」という言葉を大切にしています。皆様も在学中に何度かその言葉を耳にされていた事と思います。これは在学中だけの事ではありません。これから先の皆様の生きる場所に、必ず学びがあり、そこに人間形成のチャンスがあります。これからも、新たな挑戦あるいは苦難に立ち向かって、様々な場面で是非この言葉を思い出して下さい。そして、姫路獨協大学の卒業生である事を誇りに、力強く人生を歩んで頂きたいと思います。

最後になりますが、姫路という地に誕生した姫路獨協大学に学んだ皆様が、この地域を大切になさり、未来に夢を抱いて素晴らしい人生を歩んで行かれる事を心よりお祈りし、御挨拶とさせて頂きます。

獨楽会：武本錠治会長におかれましては、このような大切な機会を頂けました事にお礼を申し上げます。これからも、獨協学園並びに姫路獨協大学を宜しくお願い致します。

獨協学園理事長　**猪口雄二** 先生

1955年　東京都生まれ
1973年 3月　獨協高校卒業
1979年 3月　獨協医科大学卒業
1979年12月　獨協医科大学リハビリテーション科　臨床研修医
1984年 1月　獨協医科大学リハビリテーション科　助手
1986年 2月　医療法人財団寿康会　寿康会病院　副院長
1987年 6月　医療法人財団寿康会　寿康会病院　理事長（現在に至る）
医療法人財団寿康会　寿康会病院　院長
2003年 7月　厚生労働省保険局　保険医療専門審査員
2003年 8月　学校法人獨協学園　評議員
2015年10月　厚生労働省保険局　中央社会保険医療協議会　委員
2017年 6月　公益社団法人全日本病院協会　会長（現在に至る）
2017年 7月　厚生労働省医政局　社会保障審議会医療部会　委員
2018年 4月　学校法人獨協学園　理事（現在に至る）
2020年 6月　公益社団法人日本医師会　副会長（現在に至る）
2023年 8月　学校法人獨協学園　理事長（現在に至る）

2023年総会

井上清美学長の御来訪

2023年度：第27回同窓会総会に、井上清美学長に御来訪頂きました。

学長御就任になったばかりで御多用の中、同窓生を慮った熱いメッセージをお伝え下さいました。

母校：姫路獨協大学の今後、見届けて行きたいとの気持ちを新たに、井上先生のお話を伺いました。

Campus Now

● 外国語フェスティバル

2023年度：中国語弁論大会実施の報告とお礼

人間社会学群教授：田村祐之 先生

毎年12月に開催してきた、人間社会学群国際言語学類・外国語学部主催の中国語弁論大会は、昨年度と同様に、遠隔（動画）で実施致しました。

今年度は、本学の中国語学習者が極端に減少した為、部門を設けず、参加者３名での実施となりました。11月30日までに、参加者各人が動画を提出、12月２日までに審査員３名（奥田寛先生・石暁軍先生・田村）がそれぞれ動画を視聴して審査を行ないました。

参加者は少数とは言え精鋭でもあり、日頃の学習の成果を如何なく発揮しました。入賞者は以下の通りです。カギ括弧内は朗読の課題文及び弁論の題目です（日本の常用字体にしました）。

第１位：今井　大翔（弁論）「台湾是外国」
第２位：中嶋　理咲（弁論）「品嚐台湾菜」
第３位：伊藤榛一郎（朗読）「春暁」ほか詩５首

また、入賞者には、同窓会より頂いた同窓会賞を授与させて頂きました。本弁論大会の開催に御支援を頂き、誠にありがとうございます。

2023年度：学内韓国語作文大会

人間社会学群教授：中村麻結 先生

1年生から4年生まで、16名の参加でした。小さい頃からの生育歴や語学学習歴を紐解いてくれた作文や、現在までお世話になった父母への思いを綴った内容、また、アルバイトがきっかけで苦手な事が好きな事に変わったストーリー等、各自思い思いに書いて応募してくれました。

受賞者の一覧は、以下の通りです（数字は、2023年度の学年）。

《最優秀賞》　後藤　みう（4）
《優 秀 賞》　秋中　未羽（3）・樋渡万里子（3）・稲岡　　優（2）
《敢 闘 賞》　米田　　鈴（4）・松平　彩名（3）・守屋　奈保（3）・大本侑衣梨（3）
　　氏房　郁乃（2）・田中　彩音（2）・藤岡　凜子（1）

● 語学留学

慶熙大学校：韓国留学を終えて

人間社会学群国際言語文化学類３年：守屋奈保 さん

今回の韓国留学で、自身の成長を感じています。それは、勉強面だけでなく、最後まで諦めずやり遂げる力も身に付いた事です。最初は上手く出来るか不安でしたが、すぐに友達も出来、お互い助け合いながら生活を送れたと思います。

まず、勉強面では、語学スキルを把握する事に始まり、課題を見付け対処しました。その中で、語学力を伸ばす事を目標とし、取り組みました。当初は、速い会話を聞き取る事に困難を感じましたが、授業中だけでなく、友達との会話を通し、段々耳が慣れて行き、会話が楽しめるようになりました。また、英語で授業を受ける機会が得られ、韓国語だけでなく英語も身に付ける事が出来たと思います。

それから、生活面では、これから必要となる多文化認識に加え、多様な考え方を学ぶ事を目標にしました。休みの日は、友達と電車やバスを利用し、買い物をしたり、カフェへ行ったりと、充実した生活を送れたと思います。韓国は、日本よりもデリバリーが発達しているので、夜中にルームメイトとチキンを頼んだりもしました。そして、ロボットがコーヒーを作ったり、店内にはキオスク端末が設置されていたりする等、日本よりAIが発達している事を目の当たりにしました。

10か月間の留学生活を終え、友達も増え、語学スキルも上達したと感じています。それに、何にでも挑戦する事が出来るようになったのも、この経験のお陰だと思います。長期留学を通して、得た事の多さに感謝しています。今後も、語学のスキルを上げる為、日々努力を重ねたいと考えています。

学内セミナー

薬学部公開講座：第12回卒後教育セミナー

2023年度の「第12回卒後教育セミナー」は、「セルフメディケーション」に主眼を置き、2024年２月25日（日）に開催されました。

本セミナーは同窓生に限定しておらず、地域で活躍されている薬剤師の先生方にも広く開講されています。

この講座を受講すると、「日本薬剤師研修センター認定１単位」又は「日病薬病院薬学認定薬剤師１単位」が取得可能です。

中学生に向けて…。

【中学生のための『医療の仕事フェスタ』】

医療系学部では、2024年２月18日（日）、「中学生のための『医療の仕事フェスタ』」が開催されました。

この講座は、中学生の皆さんに大学研究機関での体験を通して、医療専門職を広い視野から考えるきっかけになるようにと開催されました。

オリエンテーションの後、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床工学技士、薬剤師、看護師のブースに分かれ、６つ全ての職種が体験出来る貴重な時間でした。

【中学生のためのサイエンスラボ】

薬学部では、2024年３月２日（土）・９日（土）に、中学生を対象とした公開講座が開講されました。

大学の実験室で、リアルな研究体験が叶う講座です。有機化学や生命科学の世界が体験出来る貴重なイベントです。

例年、開講されていますので、大学サイトにて御確認下さいませ！

看護学部：「春キャンツアー」の開催！

看護学部では、2024年度オープンキャンパスに先駆け、３月23日（土）に看護学部棟全館が紹介されました。

進路検討中の生徒の皆さんだけではなく、看護職に興味関心がある方々等、多くの皆さんが来場されました。

紹介内容としては…。

「看護学生の一日」として動画の上映があったり、「正しい脈拍測定・体温測定」の提示があったりしました。また、命を助ける看護技術にチャレンジする救命技術を学べる貴重な体験も叶ったようです。

藍綬褒章受章

2023年11月13日（月）、道谷卓副学長が令和５年秋の褒章にて「藍綬褒章」を受章なさいました。

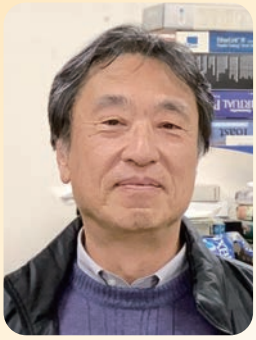
藍綬褒章は、会社経営や各種団体での活動を通し、産業を盛んにする事や、社会福祉が充実する事に貢献した人に贈られる褒章です。

道谷先生の受章は、2001年から20年余りの間、非行を犯した人達と少年院で面談する「篤志面接委員」として、毎月１回欠かさずに通い続けられた事が評価されたものです。

法務省にて行なわれた褒章伝達式で、法務大臣から藍綬褒章と褒章の記を受けられ、その後、皇居の春秋の間にて天皇陛下に拝謁なさいました。

道谷　卓 先生

御退職教員



人間社会学群・旧法学部

大崎雅一 先生

阪神タイガースが前回優勝した1986年には、私はケニアの首都ナイロビの日本学術振興会海外研究連絡センターの駐在員をしながら、合間に隣国のタンザニア北西部のマンゴーラ地域で調査をしていた。

調査を終えてナイロビに帰る準備を終えて寛いでいると、向かいの木陰に牧畜民ダトーガの青年（戦士）達が槍を携えて集まり出した。何事かと聞くと、病人を運ぶ為に青年達が集まっているとの事だった。

当時のタンザニアは経済が破綻していた為ガソリンは売っておらず、ケニアのガソリンで走っている私の車への便乗は度々頼まれたものだった。今回も頼まれるのかと身構えていると、ちょっと様子が違う。町の病院に入院していた男の死期が近くなった為、若者達が交代で家まで病人を送り届けるのだという。

しばらく見ていると、前後を槍で武装した戦士達に守られた担架が到着し、この地域の若者達と交代し、土埃を上げながら暮れなずむサバンナの彼方に隊列は消えて行った。タンザニア経済が破綻していてもダトーガの地域集団は健在で、若者達は課された社会的役割を果たし、人々の想いを叶える力がある事を思い知らされた。

私は2023年３月に退職しましたが、同い歳の星野次郎教授は22年６月に逝去され、知人達の入院の知らせや訃報に接する事も多くなりました。こんな事等を思い出しながら、大学から持ち帰った本や資料等の整理を始めようとしています。

たくさんのありがとう。定年退職

医療保健学部

野中信之 先生

姫路獨協大学の同窓生の皆さん。私は定年を迎え、退職しました。

約12年前に不安な気持ちで姫路獨協大学の教壇に立つ事となりました。

その中で、一番の励みであったのは、学生の皆さんの明るい笑顔や質問に来られる時の真剣な表情でした。もちろん、職員の皆さんや同僚の先生方からの御支援も「頑張ろう」という気持ちの支えとなっております。本当に有り難うございました。

以上の経験で体得出来た最も大きな信念は「努力」という言葉です。着任後すぐにどの学生の方々も素晴らしい努力家であられる事が解りました。

授業中や、特に国家試験を受験されるまでの皆さんの一心不乱な姿には、深い感銘を受け、「あのような姿勢に応える為には、自分はもっと良いものを提供しなければならない」といつも考え、自分の支えとして参りました。

確かに社会には有能な優れた方々は大勢です。しかし、自分の夢を叶え、社会に貢献する為に最も必要な事は努力です。努力の成果は、それの量に比例して増大して行きます。もちろん、如何に優れた人でも努力なしに成果を上げる事は出来ません。これは定年を迎えた私の信念となり、それの素晴らしさを教えて下さったのは、学生の皆さんや職員、教員の皆さん方でした。本当に有り難うございました。

人間社会学群・旧外国語学部

渡邉志津子 先生

昨年３月に定年退職、その後非常勤で勤務し、2024年３月にそれも終えました。24年間姫路獨協大学へ通った事になります。外国語学部日本語学科に始まり、その後、組織形態は変わりましたが、日本の古典文学を教える事に変わりはありませんでした。

キャンパスは、四季によって素晴らしさが変わりました。桜・紅葉はもちろんの事、夏にはホトトギスの声が聴こえました。研究室に「キョキョキョ」と聴こえ、嬉しかったものです。また、秋には鹿。講義棟で授業していると「ピヨー」と鳴きます。私は「奥山に紅葉踏み分け鳴く鹿の～」と呟きながら、授業したものです。和歌の世界が、そのままありました。

また、姫獨は人の心が温かかったです。私は語学だめパソコンだめのダメダメ教員でしたが、周囲に支えて貰って、何とか定年を迎えました。何も出来ない私を気遣い「先生、大丈夫？」と声を掛けて下さる温かさが、教職員にも学生にもありました。

私の研究の専門は播磨の俳諧で、在職中に姫路市史等を担当しました。その時に調べっ放しの事も多く、今後はそれを纏めたいと考えております。

24年間の思い出は、どれも楽しく嬉しく温かいものばかりでした。卒業生の皆さんにとっても、姫路獨協大学が心の古郷となって欲しいと願います。

皆様の御活躍を心よりお祈り申し上げます。

看護学部

安藤千春 先生

愛知医科大学と獨協医科大学に合計20年在職し、姫路獨協大学に私が着任したのは、看護学部が創設された2016年４月です。

定年退職までの８年間は、還暦後に時の流れを早く感じました。所属は看護学部でしたが、全学共通科目担当の為、人間社会学群・医療保健学部、及び薬学部の講義・演習科目を担当しました。全学部の学生との関わりは各学部の独自性を感じる事が出来ました。特に、キャリアセンター長としての４年間は、低学年時に担当した学生達の就活面接練習において、彼らの成長を大変頼もしく感じました。社会人として現在は活躍している姿を想像すると嬉しく感じています。

看護学部では、英語関連科目を全て担当しました。最終的にはロサンゼルスでの海外研修を目標としたカリキュラム編成が可能であり、１年生から医学英語教育を実施出来た事はやりがいを感じた反面、2020年のコロナ禍による海外研修の中止は仕方がないとは言え、今でも心残りです。定年までに７回の実施予定が２回で終わってしまったからです。

何かと手が掛かった、つまり、指導を要した学生ほど記憶に残っています。その学生達とは今でもメールでやり取りをしている事は私の財産です。加えて、学内の春の桜、真夏の強烈な日差し、秋の紅葉、そして、雪景色は鮮明に記憶しています。

末尾となりましたが、私が教育と研究に専念出来る環境を作って頂いた事務局全ての方々に、心より感謝申し上げます。

2023年度教職課程終了により終活を迎える心境

医療保健学部・旧教職課程

上寺常和 先生

姫路市と初の公私協力方式で創設された姫路獨協大学が日本に誕生した。２年後には教職課程が、初代学長：須田勇先生の要請の元に創設される事になった。恩師である上野辰美先生を中心に教職課程が開設され、学部完成年度を経て大学院修士課程が設けられた。

教員免許状は、学部卒業生には中学校Ⅰ種・高等学校Ⅱ種が与えられ、大学院修了生には基礎免許状の上に専修免許状が授与される事になった。

姫路獨協大学は、姫路市が戦後求め続けて来た総合大学の基礎を形成し、文化・政治・社会・経済･医療等の領域で、中核都市に貢献し得る人材の育成と研究･開発機関として役割を担った。また、姫路市民から愛され、共に成長する機会が大学に与えられた。

教職課程は地域貢献の為、教員免許・博物館学芸員・社会教育主事・学校図書館司書教諭等、多くの免許・資格取得が叶い、教育現場で活躍出来る人材を輩出して来た。

しかし、少子高齢化社会は、教員養成にも多大な影響を与えた。教員志望者の減少は、大きな社会問題である。そして、教員に対する過剰な負担は、教員志望者減少となり、学校教育の衰退に繋がると予想される。

教員志望者は、教員としての確たるアイデンティティを持ち、自己研鑽に励む必要があるのは言うまでもない。だからこそ、今後、加速度的に変化する社会に相応しい教員志望学生が一人でも多く現れてくれる事を心から願っている。

「姫路獨協大学全若者よ、大志を抱け！」

長い間、姫路獨協大学でお世話になりました。

訃　報

旧外国語学部　**大曾美恵子** 先生
2024年１月11日　御逝去

旧外国語学部　**北川秋雄** 先生
2024年３月10日　御逝去

活躍する同窓生

1992年卒

外国語学部英語学科

山本智恵さん

姫路獨協大学創立２年目の入学でした。建物も備品もピカピカで、まだ2学年しか居ないので、広々と自由に使っていました。お気に入りの場所は、図書館でした。専門書ではなくて、小説やら雑誌やらを読んでいました。あとは、ビデオ（！）ブースで古い映画を観たり…と我が家のように過ごさせて貰いました。

卒業後は、生命保険会社に入社。早いもので、春で33年目に突入です。入社時には想像もしていませんでしたが、事務に営業・セミナーの講師役等をする事もあり、個人のお客様や、企業・学校にも訪問します。その他にも、ボランティア活動やイベント運営…色々な経験が出来る会社です。

先日は姫路獨協大学の体育館をお借りして、イベント開催をさせて頂きました。こんな形で母校を訪問出来る事になるとは！

学生時代の事をあれこれと思い返す事が出来、このような巡り合わせに感謝です。御縁や繋がり、御支援を感じながら日々お仕事をさせて貰っています。

これからも、色々な経験や出会いを、楽しんで行きたいと思います。

2008年卒

法学部

宮本佳寿美さん

大阪の広告代理店に新卒で営業職として入社し、現在17年目を迎えようとしています。２年前の御縁から、学祭のお仕事をさせて頂き、改めて学生時代を思い出す機会を頂きました。そして、更に近況をお伝えする場を与えて頂き感謝致しております。

当時は、オープンキャンパスのスタッフをさせて頂いたり、志湧祭実行委員会に所属したりと、多くの経験を積む事が出来、充実した学生生活でした。特に、学祭の実行委員会では、学生ならではの小競り合いもあり、深夜まで続く作業も経験しました。そして、学祭終了後の達成感と燃え尽き感だけでなく、報告書作成で現実に引き戻される事…。精一杯「その時」を生きていたなと感じます。

中でも３年時に実行委員長をさせて頂いた際には、人を纏める力、外部へ発信する経験、特別課外活動団体（当時、志湧祭を含む、学友会･文化会･体育会・応援団）との連携、それから、学祭を運営する為の大きな予算の扱いや関係企業とのやり取り等、どれも現在の私を作る糧だったと言えます。

現在は、メディア媒体窓口の責任者として、社内以外にも、クライアント･メディア関連各社と関わる業務です。広告代理店として、紙媒体やwebメディア・SNS・テレビCM等の広告媒体に加え、自治体や企業とのイベント運用等にも幅広く関わる事が出来る環境にあります。怒涛のような毎日が過ぎて行く中で、マルチタスクを熟し、新しい事を生み出す楽しさは、学生時代に得た経験によって培われたと感じております。

仕事関連では、意外と多くの同窓生の皆様方とお仕事をさせて頂く機会もあるので、世代が違っていてもその御縁で話が膨らむ事もあります。ですので、今後も素敵な御縁がある事を楽しみにしております。

2003年卒

法学部

小林哲也さん

勤務先　https://nihon-sangyo.jp

初めまして。2003年法学部卒の小林哲也と申します。現在、加古川市で日本産業株式会社の代表を務めています。

事業内容は、冷凍水産品・冷凍加工品を中心に、全国のシティホテル・リゾートホテル・温泉旅館・外食チェーン店・他飲食店へ弊社営業社員が直接提案し、お届けを行なっております。コロナ禍は非常に苦労しましたが、体制を見直し、年商については100億円を超え順調に推移しております。2022年に創業50年を迎え事業基盤が確立し、現在は組織経営を掲げ内部体制の強化を日々進めております。

当社には、同窓生も勤務しており、支店長・次長となって日々活躍しております。当社は現在、中途社員・新入社員の採用も積極的に行なっておりますので、御興味がありましたら、いつでも御連絡下さい。

今思い返すと、学生時代は、ただ何となく楽しく過ごしていたと思います（笑）。

部活は陸上部に所属していて、獨楽会の鈴木副会長は陸上部の先輩でもあります。今思うと、もう少し真面目に練習しておけば良かったかなと後悔しています。

学生時代の思い出の一つは、父が教員だった事もあり、教職課程を履修していた事です。土曜日も授業があり、辛かった記憶があります。教育実習時は大変でしたが、色々な方のサポートがあり乗り越える事が出来ました。「継続は力なり」とあるように、大学での経験があったからこそ、何事もすぐに投げ出さず、現在まで取り組めていると思います。

後輩の皆さんには、学生時代にどのような事でも良いので、何かを継続してやって欲しいと思います。

好きな言葉に「３つの『つ』」があります。「詰め･繋がり･積み重ね」です。これは、社会人として一人前の行動が取れる為には、非常に大事になるワードでもあります。また、これには、なかなか深い意味があり、業務を円滑･丁寧に行なう上で気を付けている事でもあります。

後輩の皆さんには、今後の参考にしてみて貰いたいと思います。

「看護学部：第1回ホームカミングデー」開催

2023年10月22日（日）、「看護学部第１回ホームカミングデー」が開催されました。当初は、2022年夏に開催予定でしたが、当時、新型コロナウイルス感染症による感染が予断を許さない状況であった為、一年越しの開催となりました。

当日は、志湧祭と同日開催となり、多くの方々で賑う学内に同窓生が戻って来て下さったようです。

第１部は創立20周年記念ホールにて、清元秀泰姫路市長による基調講演会が行なわれました。また、第２部は地域コラボレーションルームにおいて、看護学部長：三宅靖子先生による開会挨拶があり、獨楽会会長：武本錠治による挨拶の後、看護学部同窓生と教員との歓談が行なわれました。

ファミリー専願入試

合格者には、合格時点で「**ファミリー制度**」が適用され、支援金が支給されます。
最新情報は、受験生応援サイトにて御確認願います。

入試ガイド

FROM 獨楽会

招集のお手伝い致します！

同期会・ゼミ会・OBOG会の招集は、お困りではないですか？
獨楽会では、会員間の取次サービスを行なっております。招集のお手伝いは、お気軽に、事務局までお問い合わせ下さい。詳細は、獨楽会HPにて、御確認願います。
また、同期会・ゼミ会・OBOG会の開催に当たり、獨楽会では、支援を致しております。こちらも、お気軽に、お問い合わせ下さい。

●お問い合わせは…**獨楽会事務局　honbu@hdud.gr.jp**

獨楽会からの発信！

大学情報等、Facebookを通じて、御紹介しています。獨楽会サイトも、リニューアル致しました。
同期会・ゼミ会・OBOG会等の告知でも、御利用頂ければと思います。
同窓生の皆様方の拠り所として、是非、獨楽会を御活用下さい！

獨楽会からのお願い

◎求む！同窓会運営委員　同窓会の運営をお手伝い頂けませんか？

年に数回、運営委員会を開催致しております。御協力、よろしくお願い致します。

○会報への寄稿　同窓会報への寄稿、お待ち致しております。

近況報告はもちろん、同期会・ゼミ会・OBOG会の開催等、何でも、寄稿頂ければと思います。

◎御注意を！　獨楽会では、名簿業者との提携はしておりません！

獨楽会や大学関係者を装い、同窓生の皆様に問い合わせや勧誘があるとの旨、お知らせを頂きます。電話による各種調査も一切実施致しておりませんので、不審な問い合わせ等がありましたら、事務局まで、お知らせをお願い致します。

○住所変更について　転居・住居表示等の変更、また、就職・転職をなさったら、事務局までお知らせをお願い致します。

頂いた情報は、キャリアセンターとも協力して、後輩の就職活動に、役立たせて頂いています。確実に、同窓会報をお届けする為にも、御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

「獨協大学同窓会近畿支部の集い」に参加しました。

姉妹校である獨協大学同窓会近畿支部の集いが、2024年２月25日（日）に大阪市内のホテルで行なわれ、姫路獨協大学同窓会から、武本錠治会長・霞未浩二副会長・鈴木勝副会長の３名が出席しました。

この集いは、例年この時期に開かれており、毎回、男女問わず幅広い年齢層の方々が参加しておられます。大学時代に所属していた学部やゼミの話題から、クラブ・サークルの話に至るまで、色々な思い出話に花が咲いていました。

また、この集いには、近畿地方のみならず、遠く離れた関東からも参加されており、中には海外在住の方も参加されていました。

獨協大学同窓生の強い絆と、母校への熱い思いを感じました。

獨協講座：2024年度　通年・春・夏講座

姫路獨協大学は、地域の皆様の学びの場として、「獨協講座」が開講されています。大学の特性を活かし、外国語・教養・健康等、幅広いジャンルの講座が取り揃えられ、興味・知的好奇心に応えて貰えるはずです。

卒業生・修了生の皆様は、受講料が１割引となります。

- 申込締切日…**通年・春講座：４月18日（木）／ 夏講座：５月21日（火）**
- お問い合わせ…**地域連携課　TEL：079-223-9258**（平日9:00 ～ 17:00）

詳しくは、大学HPを御確認下さい。

講座会場・時間・受講料等詳細については、大学HPの「地域連携（公開講座）」からパンフレットを御確認下さい。

また、10月開講の冬講座は、９月上旬頃に告知されます。

「地域連携（公開講座）」はこちら
https://www.himeji-du.ac.jp/region/openlecture/

はりま歴史講座

2024年度は、『播磨地域における産業を支えるモノの歴史（全４回）』が開講されます。

播磨地域では、酒造業・塩業・菓子業等、私達の暮らしに欠かせないモノ（資源）を作る産業が発展して来ました。今回の講座は、播磨地域のモノに焦点を当て、文化人類学・民俗学・歴史学・地理学等の様々な分野から、考えていきます。

日程・各回のテーマ等の詳細は、大学HPにて御確認下さい。

- お問い合わせ…**姫路獨協大学播磨会　TEL：079-223-6564**

編集後記

母校は何処へ進み行くのか？　明るい未来が待っているのか？
轍を歩めるよう、後輩を導いているのか？　自問自答の日々が続いています。　（姫獨協子）

第28回

2024年度
獨楽会総会・交流会

日　時　2024年6月8日㊏　総　会：11：30～ 受付
12：00～ 開始
交流会：13：00～ 開始

会　場　姫路キヤッスルグランヴィリオホテル

上記の通り、獨楽会総会・交流会を開催致します。

総会・交流会共に、出欠確認は、下のQRコードから登録をお願い致します。また、近況報告もお願いしたいと存じますので、欠席の場合でも、サイト訪問をして頂ければ幸いです。

交流会は、名刺交換会がてら、御参加下さい。軽食の提供も致します。

COVID-19の為、卒業記念パーティーが開催されなかった期間の獨楽会会員の皆様方には、是非、御来訪頂きたいと思っております。

それでは、情報拡散・万障繰り合わせての御参集、心より、お願い申し上げます。

情報拡散大歓迎！

2023年度 総会

問い合わせ先　姫路獨協大学同窓会　獨楽会
〒670-8524　姫路市上大野7-2-1
E-mail：honbu@hdud.gr.jp